

クラウド電子カルテ「Clipla」、PACS連携機能をリリース

スリーゼット社が提供する医療用画像管理ソリューション「Caps-Web」と
クラウドサービス「WATARU」の2製品に対応

クリニカル・プラットフォーム株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：鐘江康一郎、以下クリニカル・プラットフォーム)が提供する診療所向けのクラウド電子カルテ「Clipla(クリプラ)」は9月27日、医療用画像管理システムと接続するPACS連携機能をリリースし、株式会社スリーゼット(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：堀口達也、以下スリーゼット)が提供する医療用画像管理ソリューション「Caps-Web」ならびにクラウドサービス「WATARU」との連携を開始したことをお知らせします。



医療用画像管理システムとの連携 ※イメージです

クラウド電子カルテ「Clipla」にリリースしたPACS連携機能は、CRやCT、MRI、内視鏡などの画像撮影装置の画像データを管理する医療用画像管理システムと接続し、電子カルテから専用画像ビューワーを呼び出して、患者の検査画像を表示します。医療用画像管理システム側で患者情報を検索する必要がなく、シームレスに患者情報を呼び出しができるため、診療の効率化につながります。また、当機能の連携先として、スリーゼットが提供するオンプレミス型の医療用画像管理ソリューション「Caps-Web」とクラウドサービス「WATARU」の2製品に対応します。

クリニカル・プラットフォームは、スリーゼットが提供する「Caps-Web」「WATARU」とのPACS連携を経て、診療所におけるクラウド電子カルテの利用促進を加速していきます。また、今後も医療用画像管理システムを提供するさまざまなパートナーと連携し、診療所における業務の効率化と医療者が医療行為に専念できる環境を実現します。

■クラウド電子カルテ「Clipla」とスリーゼット「Caps-Web」「WATARU」との連携イメージ



*スリーゼットの「Caps-Web」「WATARU」とのPACS連携には、クラウド電子カルテ「Clipla」の利用環境としてWindows PCが必要となります。

【参考資料】

■「PACS」について

レントゲンやエコーなどの画像撮影装置（モダリティ）から受信した画像データを効率的に閲覧、管理するための医療用画像管理システム（Picture Archiving and Communication System の略）のこと。

■スリーゼットについて

社名：株式会社スリーゼット

設立：1999年6月

事業内容：医療情報関連システムのソフトウェアの開発・販売、医用画像ファイリングシステムのハードウェア・ソフトウェアの開発・販売、ネットワーク関連システムの開発・販売

納入実績：全国1700施設（2016年9月現在）

URL：<http://www.3zweb.co.jp/>

【クリニカル・プラットフォーム株式会社について】

「Better Quality With Less」、医療者が質の高い医療を少ない労力で行うことのできる環境を提供することをミッションに掲げ、メディカル分野でサービスを展開するインターネット企業です。2013年10月設立。資本金1億6,784万5,000円（資本準備金は含まない）。従業員数9名（2016年9月現在）。

URL：<https://clinical-platform.com/corporate/>

【クラウド電子カルテ Clipla(クリプラ)について】

2016年1月にサービスを開始した、初期費用0円・登録患者数100名まで月額利用料0円で利用可能な診療所向けのクラウド電子カルテです。Webブラウザのみで利用可能で、患部の状態をスマートフォンで撮影し直接カルテに保存できる「スマホアップロード」機能やメドレー社が提供するオンライン病気事典「MEDLEY」との連携機能やミーカンパニー社が提供する「スクエル・データベース」との連携による医療機関名サジェストなど、クラウドの特性をいかした機能を搭載しています。

サービスに関する動画：<https://youtu.be/1l0EgpJvWsw>

本件に関するお問い合わせ先

クリニカル・プラットフォーム株式会社 担当：堀辺

電話：03-6272-3206 携帯電話：070-4061-7198 Email：pr@clinical-platform.com

プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。
スクリーンショットならびに画像は開発中のものであり、架空の医療機関名や人物名を使用しています。